

図の上部には、次の口上と句がある。

御名残口上 坂東三津五郎

高うはござり升れども口上を以奉申上
升ル私儀
上方表よりは是迄度々相登り升ル様
相談もござり
升れども御江戸出生の私儀御ひいき様方の

御膝元をはなれがたく奉存升ルゆゑ
断も申遣し
まする所親三津五郎儀上方出生にムリ升れば
親類共よりも一度は相登り升ルやう度々申遣し

升れば 暫くの内にはムリ升れども御名残狂言に
何がな御覧に入度と奉存升ル所さる御ひいき様
御差図を以古めかしくはムリ升れど第一ばんに

一ノ谷 嫩軍記第弐ばんめに七変化所作事
相勤升れば早朝より賑々敷御来駕
のほど偏に希上奉り升る

蘭の香やこれ

三ヶの津の

秀でもの

酔中即考

雨龍庵

潤夫